

エコアクション21

# 環境経営レポート

第12版  
<2024年4月～2025年3月>

谷口環境建材 株式会社

2025年8月20日

## 目 次

1 会社概要	.....	1
2 対象範囲	.....	1
3 環境経営方針	.....	2
4 環境経営目標	.....	3
5 環境経営目標の実績	.....	3
(1) 2024 年度の実績について	.....	3
(2) 過去実績の推移について	.....	4, 5
6 環境経営計画と取組評価と次年度への取組	.....	6
7 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	.....	7
8 代表者による全体評価と見直しの結果	.....	8

# 1. 会社概要

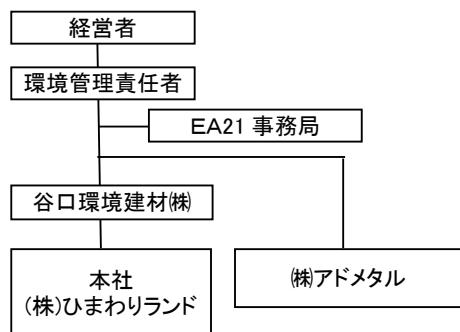
- (1) 事業所名 谷口環境建材株式会社
- (2) 設立 昭和50年6月
- (3) 資本金 1,000万円
- (4) 代表者氏名 代表取締役 田口 寿樹
- (5) 所在地 〒437-0051 静岡県袋井市深見85番地の1
- (6) 環境保全関連の責任者及び担当者
- 環境管理責任者 高橋貴則  
EA21事務局 河原崎圭子 [himawari-7@yaguchi-group.co.jp](mailto:himawari-7@yaguchi-group.co.jp)
- (7) 連絡先 TEL 0538-30-1331  
FAX 0538-49-2148
- (8) 事業内容 太陽光発電の設計・施工・販売  
建材・屋根・外壁の設計・施工・販売
- (9) 決算期 每年6月～翌年5月
- (10) 対象事業所  
本社・倉庫(静岡県袋井市深見85番地の1)  
株式会社ひまわりランド(静岡県袋井市深見85番地)  
株式会社アドメタル(静岡県袋井市山科2273-2)
- (11) 事業規模

活動規模	単位	2024年度
売上高	百万円	740
従業員	人	17
床面積	m <sup>2</sup>	1,388

<環境管理組織における機能>

- 経営責任者  
①環境経営全般に対しての責任と権限  
②環境方針の作成と社員への周知  
③環境経営に必要な資源の準備  
④環境管理責任者の任命  
⑤全体の評価と見直し  
⑥実施体制の構築

## (12) EA21運営組織図



- 環境管理責任者  
①環境経営活動の推進  
②環境目標及び環境計画の作成  
③経営者への進捗報告

- EA-21活動事務局  
①各部門のデータのまとめ  
②活動計画の予実績管理  
③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施  
④環境管理責任者補佐  
⑤法規制最新版管理  
⑥文書・記録の管理

- 各部・各部門  
①環境計画の実施  
②月別部門データの集計  
③問題点の把握と是正の実施

# 2. 対象範囲

- (1) 認証登録の範囲 全組織・全活動

### 3. 環境経営方針

#### 《企業理念》

谷口環境建材株式会社は、歴史ある建材・外壁工事に留まらず、太陽光発電システム等の新エネルギー事業および遮熱材・強制換気システム等の環境改善工事の推進活動を通じて建物の創エネ・省エネによる「建物が人に地球に優しい存在」を目指し、環境経営を行い地球環境の保全に努めます。

#### 《方針》

当社は、地球環境保全の重要性を認識し、環境保全に貢献するように事業活動を推進する。

- (1) 温室効果ガス削減商材の販売を推進し、新エネルギーおよび環境改善工事に努めます。
- (2) 事務用品及び建材資材等のグリーン購入を推進いたします。
- (3) 事業活動に伴うエネルギー消費量の節減に努め、二酸化炭素削減に取組みます。
- (4) 水の使用量の削減に取組みます。
- (5) 事業活動による産廃物の削減に努めます。
- (6) 社内外の整理、整頓、清掃、安全に留意し、意識の高揚に努めます。
- (7) 環境関連法令を遵守し、社会情勢の変化に対応するように努力いたします。
- (8) 環境経営を継続的に改善します。
- (9) この環境経営方針を事業所内に掲示し、朝礼、会議等を利用して全社員に周知徹底をいたします。
- (10) この方針は、社会の要請に応じて公表いたします。

2013年6月1日 制定  
2022年4月1日 改定

谷口環境建材株式会社  
代表取締役 田口 寿樹

## 4. 環境経営目標

### (1) 環境経営目標の制定

二酸化炭素排出量の算出には、「R5年度実績、R7.3.18環境省・経済産業省公表」の中電力パワーグリッド(株)の調整後の排出係数である0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いています。

環境経営目標は、過去には売上当たりの原単位による評価も実施しましたが、良い結果が得られませんでしたので、現在は原点に立ち返り、総排出量にて把握・評価することにし、基準値については前年度実績値とするスライド方式を採用し、削減率は前年目標比1%削減としています。

項目	年度 単位	前年目標 比 2023年度	環境経営目標(年度)					
			前年度 基準	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
			2028年度					
1. 環境に配慮した施工			施工において環境に配慮した	施工においては環境に配慮する				
2. グリーン購入の推進			購入時はグリーン購入に配慮した	購入時はグリーン購入に配慮する				
3. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	▲1%	72,465	71,740	71,023	70,313	69,610	68,913
(購入電力)	kwh	▲1%	54,312	53,769	53,231	52,699	52,172	51,650
(ガソリン)	L	▲1%	12,046	11,926	11,806	11,688	11,571	11,456
(軽油)	L	▲1%	7,964	7,884	7,806	7,727	7,650	7,574
4. 一般廃棄物排出量の削減	t	▲1%	4.57	4.52	4.48	4.43	4.39	4.35
5. 産業廃棄物再資源化率	%		96.0%	90.0%以上				
6. 排水量の削減	m <sup>3</sup>		202	現状維持(数量把握)				

＜備考＞

1. 産業廃棄物排出量については、再資源化率としました。

2. 排水量についても生活系排水だけであり、これ以上削減することは困難であることから「現状維持」としました。

## 5. 環境経営目標の実績

### (1) 2023年度の実績について

2024年度の当社における主要環境経営目標と実績は、下表の通りです。

主 要 項 目	単位	基準	2024年度				評価
		2023年度	目標比	目標	実績	達成率	
1. 環境に配慮した施工		施工において環境に配慮した		施工において環境に配慮する	施工において環境に配慮した		○
2. グリーン購入の推進		購入時はグリーン購入に配慮した		購入時はグリーン購入に配慮する	購入時はグリーン購入に配慮した		○
3. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	72,465	▲1%	71,740	68,572	104.6%	×
(購入電力)	kwh	54,312	▲1%	53,769	58,373	92.1%	○
(ガソリン)	L	12,046	▲1%	11,926	9,659	123.5%	○
(軽油)	L	7,964	▲1%	7,884	7,984	98.8%	×
4. 一般廃棄物排出量の削減	t	4.57	▲1%	4.52	4.57	99.0%	○
5. 産業廃棄物再資源化率	t	99.9%		90.0%以上	99.9%		○
6. 排水量の削減	m <sup>3</sup>	247		247	190	130.0%	○

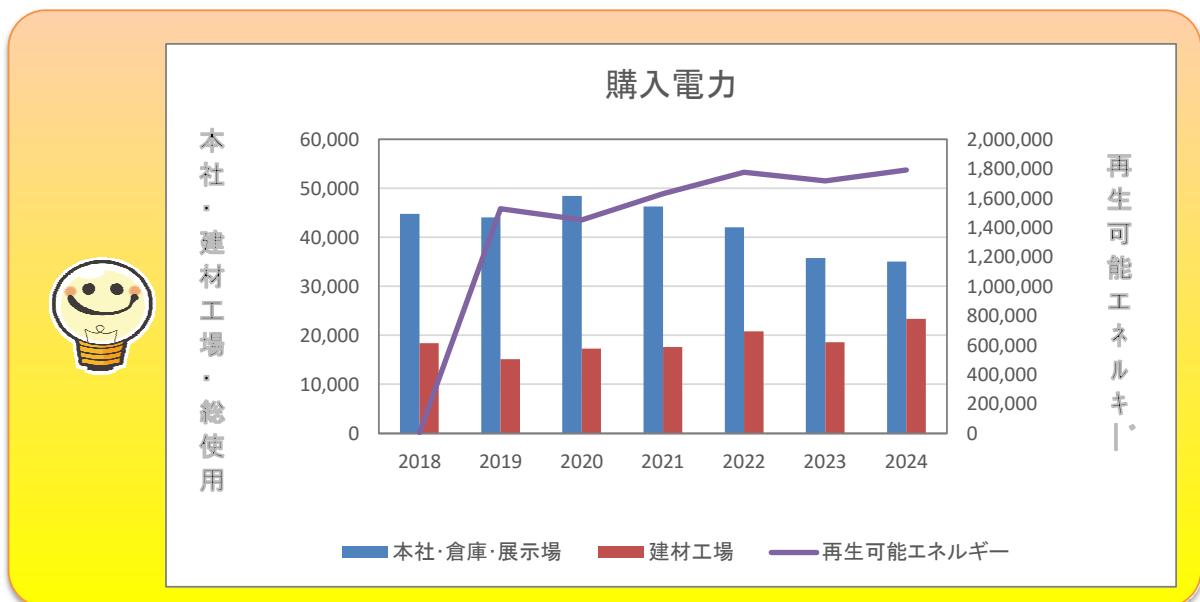
＜備考＞評価 ○印:達成、△印:ほぼ達成、×印:未達成

＜考察＞

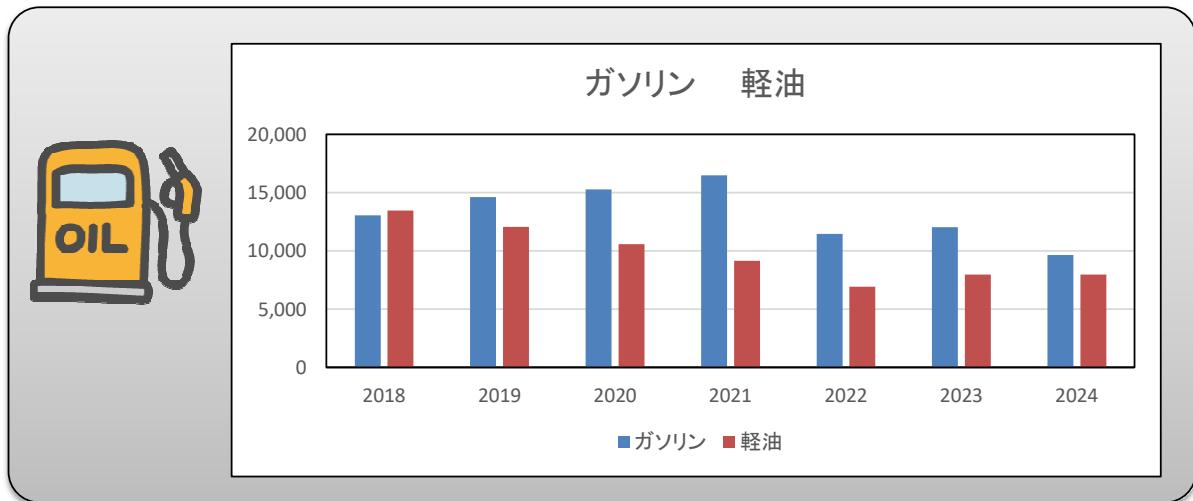
今期の取組においては、二酸化炭素排出量、軽油使用量が目標未達成であった。二酸化炭素排出量、軽油使用量については仕事量の増加及び遠方の現場が原因で、再度、社員に対して削減の推進を図る。

## (2) 過去実績の推移について

### ① 購入電力

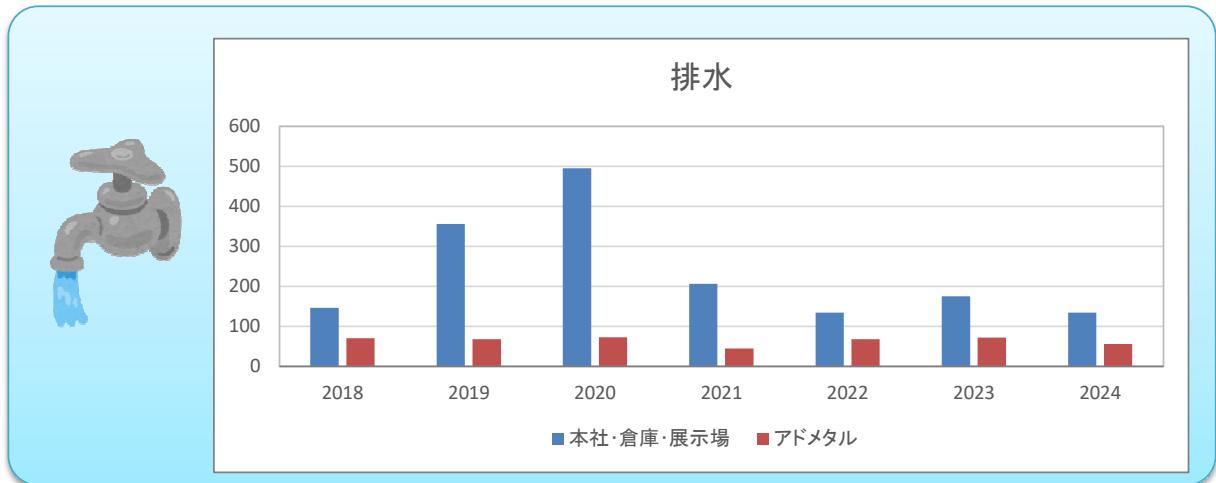


### ② ガソリン・軽油

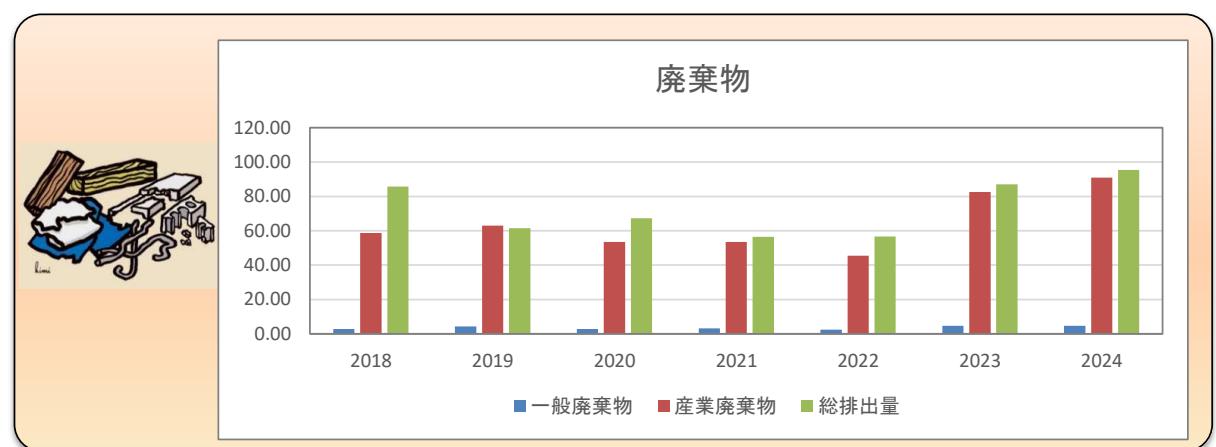


事業所	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ガソリン	13,051	14,623	15,287	16,480	11,457	12,046	9,659
軽油	13,471	12,080	10,571	9,157	6,936	7,964	7,984
総使用量	26,522	26,703	25,858	25,637	18,393	20,010	17,643

### ③ 排水量



### ④ 廃棄物



## 6. 環境経営計画と取組評価と次年度への取組

環境管理者 高橋 貴則

環境目標	取組内容	スケジュール(日程)										担当部門	取組判定	取組評価	次期への取組・対応
		6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1 温室効果ガス削減商材の販売推進	(1) 新エネルギー商材の推進と施工											環境部	C	説明会を開催。見積書のグレードアップ。	活動を継続する。
2 グリーン購入の推進	(1) グリーン建築商材の推進と施工											建材部	C	資材の仕入れ価格の高騰が大幅に進み、検討はされるものの、採用まで至らないケースが増えている。	活動を継続する。
	(2) コピー用紙・ファイルなど再生仕様を購入											事務	B	グリーン商品を積極的に購入した。可能の場合は、うら紙を積極的に使用する。	活動を継続する。
3 二酸化炭素排出量削減	(1) 冷、暖房温度基準順守(夏期26°C冬期24°C)											事務	B	特に問題無し。	活動を継続する。
	(2) エコドライブの推進														
	(3) 社用車 低公害車両の導入														
	(4) 各社用車の燃費の把握と改善提案														
4 総排水量の削減	(1) 給湯・手洗いなど普段の節水意識徹底											事務	A	毎月の使用量を把握しています。昨年より使用量削減できました。夏場はガス会社に閉栓依頼しています。	活動を継続する。
	(2) 使用量を把握														
5 廃棄物排出量の削減	(1) 廃棄物の分別											建材部	B	予定通りに実施出来た。	活動を継続する。
	(2) 再生パレットの返還														
	(3) 社内在庫品の積極的な利用														
6 建築廃棄物排出量の削減及び再資源化の工場	(1) 資材の過剰購入を削減											建材部	B	予定通りに実施出来た。	活動を継続する。
	(2) 倉庫在庫の再利用を促進														
	(3) 倉庫の整理整頓														
7 化学物質使用量の削減	丸現状未使用の為、現状維持するが、関係法令等の新たな情報に注意する。											建材部	B	予定通りに実施出来た。	活動を継続する。
8 自らが施工・販売提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	(1) 現場パトロールを通じて現場での不具合や要望を把握する。											建材部	B	施工会との連携により実施できた。	活動を継続する。
	(2) 現場パトロールで報告された不具合や要望に対応する。														
	(3) 内部コミュニケーションで報告された不具合や要望に対応する。														

【A・B・C・D判定】

- A…予定以上の実績が得られ、高く評価出来る
- B…予定通りの実績が得られ、評価出来る
- C…予定には及ばないが一定の評価は出来る
- D…実績が伴わず、評価出来ない

## 7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 環境関連法規の遵守状況

取組期間において、自社の環境関連法規の遵守状況をチェックしたところ、違反はありませんでした。

2025年7月19日  
環境管理者 高橋 貴則

### 環境関連法規制等一覧及び遵守状況のチェック結果(2024年度)

環境関連法令	要求事項	条件等関連事項	判断	評価	チェック内容(担当)
太陽光発電施設	建築物の屋根強度	風圧力法20条・令36条構造	構造検査済	遵守	構造計算・技術基準(責任者大庭)
静岡県生活環境の保全等に関する条例	騒音発生施設の届出	騒音レベル 昼間 55dB 朝・夕 50dB 夜間 45dB	コンプレッサー 3.75kW 2台 届出	遵守	(責任者戸塚) 保守点検清掃(責任者戸塚)
浄化槽法	(定期 保守点検・清掃) (法定検査)	10条 11条		遵守 遵守	実施済み 実施済み
消防法	消火器(有効期限) 火災報知機の設置	市火災予防条例 防火管理者	(対象外) 総務	遵守 総務	火災報知機保守点検
労働安全衛生法 (資格関係)	作業床の設置	高さ2m以上の箇所・安全帯 フォークリフト	建材部 総務	遵守	現場責任者設置 管理保管 資格者選任
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正処理	廃棄物の分別の徹底 廃棄物処理委託契約書の作成と5年間保管 マニフェストの発行と期間内返却の確認 マニフェストの5年間保管 廃棄物の保管(仮囲い・表示板等) マニフェストの年間集計と知事への報告 不法投棄の禁止	保管場所確認 契約書の確認 マニフェスト マニフェスト 保管場所確認 報告書の確認	遵守 遵守 遵守 遵守 遵守 遵守	責任者設置、管理保管
フロン排出抑制法	自主点検	フロンのリーク	目視	遵守	四半期に一度(事務局)

### (2) 違反、訴訟等の有無

当社に関する法規に対して過去3年間の違反、訴訟及び関係機関などはありません。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し

### (1) エコアクション21推進に必要な情報

2025年7月15日

環境管理者 高橋 貴則

見直し関連情報	① 環境経営目標の達成状況	今期の取組においては、二酸化炭素排出量、軽油使用量削減が目標未達成であった。
	② 環境経営計画の実施及び運用結果	再度、社員に対して環境経営計画内容の徹底を図る。
	③ 環境関連法規等の遵守状況	特に問題なし
	④ 内外部からの要望・苦情の受付状況	特に問題なし

### (2) 全体についての見直しについて

今期の取組においては、二酸化炭素排出量、ガソリン使用量及び軽油使用量及び一般廃棄物排出量の削減が目標未達成であったと事務局より報告を受けた。

二酸化炭素排出量、軽油使用量については仕事量の増加及び遠方の現場が原因であると捉えている。

今後とも、環境経営目標及び環境経営計画等を把握し、継続して取り組み実施していく様に全社員に対して指示した。従って、環境経営方針及び環境経営計画については、変更する必要がないと判断した。

谷口環境建材株式会社

2025年7月15日

代表取締役 田口 寿樹

代表者による全体評価・見直し指示	① 環境経営方針	変更なし
	② 環境経営目標	徹底の強化を指示
	③ 環境経営計画	変更なし。
	④ 環境経営システム	変更なし